



ピアノ：ムン・ジヨン

Ji-yeong Mun

©BANAZO



オーケストラ：瀬戸フィルハーモニー交響楽団

Seto Philharmonic Orchestra

©BANAZO



指揮：大友 直人

Naoto Otomo

©Rowland Kirishima

第3回高松国際ピアノコンクール優勝者

ムン・ジヨン 演奏会

2014年 8月31日 [開演] 14:00
[開場] 13:00

会場 サンポートホール高松 大ホール **全席自由**

[一般] 前売 2,500円 / 当日 3,000円 [学生:高校生以下] 前売 1,000円 / 当日 1,500円

※未就学児の入場は、お断りさせて頂いております。

前売券
販売所

- サンポートホール高松プレイガイド … 087-825-5008
- ヤマハ高松店 … 087-822-3068
- (株)河合楽器製作所高松店 … 087-821-3003
- 香川県庁生協 … 087-832-3822

- 高松市役所生協 … 087-839-2043
- チケットぴあ(セブンイレブン・サークルK・サンクス・ぴあのお店)
… 0570-02-9999 <Pコード> 233-026

The 3rd Takamatsu International Piano Competition Winner

Ji-yeong Mun
Piano Concert in Takamatsu

The 3rd Takamatsu International PIANO COMPETITION

「ともに夢を ともに感動を」

高松国際ピアノコンクールは、世界に羽ばたくピアニストの“夢”と“目標”を育む音楽コンクールとして、2006年からスタートしました。香川県・高松市のご協力、また多くの民間企業・各種団体・個人の皆様方からのご支援やクラシック音楽のファンの支えにより、本年3月には第3回コンクールを開催することができました。第3回は、20の国と地域から、239名の応募があり、予備審査を通過した出場者33名がサンポートホール高松大ホールに於いて、熾烈な戦いを繰り広げました。

ムン・ジヨン氏は、本選において、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番を演奏し、その溢れ出るような音楽性で審査員と観客を魅了し、みごと優勝しました。今回は、才能豊かなムン・ジヨン氏と大友直人氏の指揮による瀬戸フィルハーモニー交響楽団との共演によるピアノコンチェルトをお届けします。高松国際ピアノコンクールから、世界に羽ばたこうとしている、ムン・ジヨン氏の素晴らしい演奏をお楽しみください。



第3回高松国際ピアノコンクールファイナリスト



ムン・ジヨン Ji-Yeong Mun

第3回高松国際ピアノコンクール優勝者 ムン・ジヨン 演奏会

出演者プロフィール

ピ ア ノ ムン・ジヨン Ji-Yeong Mun

第3回高松国際ピアノコンクール優勝者

1995年韓国麗水市生まれ。5歳でピアノを始める。最近では、韓国科学創意振興財団より韓国の才能あふれた若者に贈られる賞(大統領賞)を贈られ、テウォン文化財団およびテシン証券から45,000ドルの奨学金を受けた。

また、多くの国際コンクールでも入賞歴を誇る。2014年高松国際ピアノコンクール、2012年ドイツのエトリンゲン青少年国際ピアノコンクール、ポーランドのアルトゥール・ルービンシュタイン記念若い音楽家のための国際コンクールにて優勝。

コンクールの受賞歴に加え、ソロリサイタルやオーケストラとの共演でのソリストとして演奏活動を頻繁に行っている。

サル・コルトー (フランス、パリ)、Arthur Rubinstein Philharmonia (ポーランド、フィドゴシュチュ)、Castle Asamsaal (ドイツ、エトリンゲン)、クムホアートホール (韓国、ソウル市)、Yeulmaru (韓国、麗水市) などの世界的に有名な会場でリサイタルを開催。オーケストラとの共演には、韓国交響楽団、ユーロエイジアン・フィルハーモニック・オーケストラ、KNIGAシンフォニーオーケストラ、オーストリアザルツブルクミラベル管弦楽団、ソウル・ナショナル・シンフォニーオーケストラなどとの共演がある。

指 揮 大友 直人 Naoto Otomo

群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団ミュージックアドバイザー

桐朋学園大学を卒業。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘 各氏に師事した。桐朋学園大学在学中からNHK交響楽団の指揮研究員となり、22歳で楽団推薦によりNHK交響楽団を指揮してデビュー。現在、群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団ミュージックアドバイザー。また、2004年から8年間にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務めた。

在京オーケストラの定期演奏会にとどまらず、これまでにコロラド交響楽団、インディアナポリス交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団などに招かれ、2012年にはハワイ交響楽団のオープニングコンサートを指揮、同年6月にはロレーヌ国立管弦楽団の定期公演に客演。絶賛を博し、欧米での活躍にも大きな期待が寄せられている。

第8回渡邊暁雄音楽基金音楽賞(2000年)、第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞(2008年)を受賞。

オーケストラ 公益社団法人 瀬戸フィルハーモニー交響楽団

Seto Philharmonic Orchestra

2001年11月、地域の音楽文化の活性化に寄与することが目的のNPO法人(特定非営利活動法人)として設立し、目的をより発展させるとともに社会の皆様のご支援をより一層得るために、2009年4月一般社団法人、2010年1月公益社団法人へ移行。第1回定期演奏会以降、公民館や自治体、企業などへのアンサンブルレトリバリーも積極的に実施。一方的な演奏ではなく、さまざまな形で音楽との身近なふれあいを提案している。特に、小中学校を訪問しての音楽鑑賞教室では、指揮者体験や吹奏楽部などとの共演を実施。音楽の楽しさを体感できる企画を盛り込み、音楽人口の底辺拡大・充実に取り組んでいる。また、企業、自治体などからの演奏依頼も多く、四国のプロオーケストラとして地盤を築きつつある。これまでに、故岩城宏之、円光寺雅彦、三ツ橋敬子、松尾葉子、バヴェルコーガンなどの指揮者をはじめ、ソリストに上原彩子、小山実稚恵、前橋汀子、山下洋輔などとの共演を重ねている。公益社団法人瀬戸フィルハーモニー交響楽団は、「正社員」で構成。また、後援会組織として〈瀬戸フィル後援会メイト〉がある。



大友 直人 Naoto Otomo ©Rowland Kirishima



公益社団法人 瀬戸フィルハーモニー交響楽団 Seto Philharmonic Orchestra

©BANAZO

TIPC
<http://www.tipc.jp>

高松国際ピアノコンクール 検索